

堺市国際化方針(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
	○国際化の意義とめざすべき都市像	
1	<p>「多様性を成長につなげるイノベティブな国際都市・堺」のイノベティブとは、どういう意味か。</p> <p>広く市民にわかる言葉で記載してほしい。</p>	<p>「イノベティブ」とは、「新機軸」や「革新」と訳され、新たな技術や、新たなアイデアを取り入れて新たな価値の創出や変革をもたらすことを意味します。</p> <p>地方自治体における「イノベティブ」とは、産業における新技術の創出や ICT 等の新技術を活用することに限らず、あらゆる分野において、新たなアイデアや考えを取り入れて新たな価値の創出や変革をもたらすことを意味します。</p> <p>本方針では、国際化を推進するにあたり、先人たちが様々な新しいものを生み出してきたイノベーション精神をもとに、「もののはじまり何でも堺」と言われた本市が、将来にわたって持続的に発展し続ける都市であることをめざし、将来像として掲げたものです。</p> <p>本方針や今後の取組等につきましても、市民の皆様によりわかりやすく、ご理解いただけるよう努めてまいります。</p>
	○多文化共生社会の実現	
2	<p>「堺市国際化方針(案)」の現状・課題を踏まえ、外国人市民コミュニティ(特にアセアン諸国)との交流強化が必要と考える。近隣にも外国人市民コミュニティが形成されつつあり、子育て世代等への居住促進支援、日本語学習、生活支援、地域活動支援を行ってほしい。多文化共生社会が実現できれば、グローバル人材が育成できると思う。</p>	<p>ご意見のとおり、本市におきましても、外国人市民コミュニティとの交流の強化は必要であると考えており、現在も、日本語学習支援や生活支援、地域活動支援等の取組を進めています。多文化共生社会の実現に向け、今後これらの取組をより一層推進してまいります。</p>
3	<p>・日本語学習の普及促進について</p> <p>「日本語教室」の場所が堺区に集中しており、西区や美原区にはないので、区別に普及促進策を検討してほしい。</p>	<p>堺市の日本語教室の多くは、ボランティアの方々が教室運営をしていることから、本市では、活動団体への補助金による財政的支援のほか、日本語指導ボランティア研修を実施し、活動の担い手を増やす取組等を行っています。</p> <p>今後は、日本語指導ボランティア研修の受講者に対し、西区や美原区等日本語教室のない場所で活動していただけるよう働きかけ、さらに、教室の立ち上げや運営への支援も実施してまいります。</p>
4	<p>・「国際交流プラザ」の活用について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの開催が少なくなっている。市民(外国人市民も含む)向けイベントの企画を、国際交流プラザを中核に検討してほしい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からも、今後は、ICT を活用したオンライン形式によるセミナーや外国人市民向けのイベント等新たな事業に取り組んでいきます。</p>
5	<p>・「国際課」や「国際交流プラザ」について</p> <p>各区役所に、サテライト的な窓口設置を検討してほしい。区別のアンバランスを是正すべき。</p>	<p>国際化の推進については、関係部局との横断した取組が必要であると考えています。いただきましたご意見を参考とさせていただきます。</p>

堺市国際化方針(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

6	<p>堺市の国際化方針(案)について、今後も世界の国々との友好親善を深めてほしい。</p> <p>人権概念を軸に置き、平和共存の共通理念をどうやって構築していくかの視点をもっと積極的に計画に盛り込んでいく必要性を感じる。</p>	<p>ご意見のとおり、各国との友好親善を深めていくことは大変重要であり、特に姉妹友好都市交流には、相互理解や国際親善の推進、地域の振興・活性化、さらには国際社会の平和と繁栄への貢献といったことが期待されています。</p> <p>自治体が行う国際交流では、市民が参加できる機会も多いことから、講座等を通じて異文化理解を促進し、外国人市民が地域社会の一員として参画できるよう、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めていきます。</p>
7	<p>南区には中国残留邦人等が居住し、高齢化していくなかで、歴史的な経緯を後世に伝えていく責務が堺市にはあると考える。その責務を果たしていくため、「山崎豊子記念館」を開設してほしい。</p>	<p>本市では、外国人市民(外国にルーツを持つ市民や帰国者も含む)が地域社会の一員として参画できるよう多文化共生社会の実現に向けた取組を進めています。</p> <p>また、山崎豊子氏は、「大地の子」などの名著を刊行する等、社会派小説の巨匠として多大なご功績を残されておられます。本市としては、記念館建設の予定はございませんが、今後の本市の先人顕彰施策の参考とさせていただきます。</p>
8	<p>「堺市立国際交流プラザ」が名称を変えて移転する予定になっている。これを機会に図書コーナーを充実し、図書館との連携も模索してほしい。</p>	<p>堺市立国際交流プラザの図書コーナーでは、主に海外姉妹友好都市や多文化共生・日本語学習支援に関する書籍を揃え、図書館蔵書とのすみわけを図っています。図書館とは、外国人市民向けの図書整備に係る情報提供や周知等で協力しており、ご意見のとおり、引き続き連携を進めてまいります。</p>
9	<p>臨海部は重要な工業地帯であり、そこで働く外国籍の人の多くが堺区や西区の臨海部に居住している。今後、予想される災害対策のためにも、各校区自治会とも連携したキメ細かい対策・対応をしてほしい。</p>	<p>本市では、外国人市民向けの防災訓練に取り組んでいます。今後も、外国人市民がより安心・安全に暮らせるよう、各校区の自主防災組織との連携に努めてまいります。</p>
○国際感覚な豊かな人材育成		
10	<p>次世代が地域や世界で活躍できる郷土愛を育み、世界と交流する文化交流が大切だと思う。また、SDGsやIoTも視野に入れ活躍できる人材育成が必要である。</p> <p>文化その他に詳しい堺親善大使の中谷彰宏氏や若手の落合陽一氏をアドバイザーに招いてほしい。</p>	<p>本市では、海外との交流や諸外国の文化に触れる機会を通じて、相互理解が促進されるよう取り組んでいます。それらの取組は、国際社会の中で活躍し、SDGsにも貢献できる人材を育成し、郷土への誇りや国を愛する心を育むことにつながるものと考えています。今後様々な分野での交流を進めていくうえで、いただきましたご意見を参考とさせていただきます。</p>
11	<p>堺は、海外から多くの人々と共に、新しい技術や文化、物が流入し「もののはじまり何でも堺」と言われるほど歴史に満ちた国際色豊かな都市である。「堺市国際化方針(案)」に示されているように、海外との多方面での国際交流を推進し、「堺市に行ってみよう!」と思ってもらえる都市になってほしい。</p> <p>「在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館」が大阪市から堺市に移転し、さらにベトナム・</p>	<p>ご意見のとおり、堺市は古くから世界と交流し、多様な文化や価値観を受け入れ、様々な新しいことにチャレンジし、新しいものを生み出してきた都市です。</p> <p>国内外から多くの人が行き交う魅力ある都市であるために、本市の都市魅力を発信していきたいと考えています。</p> <p>また、本市では、ベトナム人市民を含め、外国人市民が年々増加傾向にあります。外</p>

堺市国際化方針(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

	<p>ダナン市との友好都市提携締結後、ベトナムの青年を見ることも多くなり、ベトナム料理のレストランや食料品・食材店も増えていると思う。</p> <p>ベトナムに限らず、いろんな国の方々(特に若い方々)と接する機会も多くなり、皆さんが地域社会の一員として堺の人々と共に社会活動が出来るような支援と人材育成を期待している。</p> <p>姉妹友好都市やアセアン諸国をはじめ、多くの海外都市との多方面での交流を推進し、特にこれからの時代を担う青少年が互いの国・都市を相互訪問(短期留学なども含め)しながら、友好親善を深めていく中で、互いの国の文化について正しい認識と理解を持ち、国際社会に貢献できる人材育成がなされることを期待している。</p>	<p>国人市民の皆様が地域社会の一員として、共に活躍していけるよう生活支援と人材育成にも取り組みます。</p> <p>海外姉妹友好都市等との交流については、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となりました。国境を越えた人的交流は、グローバル人材の育成に必要な施策であると考えており、今後はICTを活用した相互交流も実施しながら、いただきましたご意見を参考にして進めていきます。</p>
<p>○新たな国際交流の推進</p>		
12	<p>市内に在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館と在堺チェコ共和国名誉領事館があるが、今後は、その他(アセアン諸国や東欧諸国)の領事館誘致と交流強化をしてほしい。</p>	<p>海外姉妹友好都市をはじめ、諸外国との交流をさらに充実させていくためには、外国公館等との連携強化も重要です。様々な分野での交流施策を進めていくうえで、いただきましたご意見を参考とさせていただきます。</p>
13	<p>平和共存のための国際交流を促進していくために、世界遺産である「百舌鳥古墳群」を活用していくべきと考え、本格的な「ガイダンス施設」の整備が望ましい。</p> <p>堺市博物館で企画展示された「海を越えたつながり 倭の五王と東アジア」のような内容を常設化し、大陸、朝鮮半島との歴史的事実に基づいた友好と相互理解を深めていくことが重要であり、そのような方向性での施策を推進していただきたい。</p>	<p>本市では、世界遺産のガイダンス機能として、「百舌鳥・古市古墳群」の魅力に触れる、「百舌鳥古墳群ビジターセンター」を開設すると同時に、堺市博物館をリニューアルしました。</p> <p>4世紀から5世紀にかけて、大陸や朝鮮半島から伝わった様々なモノや技術が、その後の日本の発展に大きく寄与したことを国内外の方々に発信するため、当時の東アジアとの交流についての解説パネルを常設展示し、日本と中国や朝鮮半島とのつながりを示す歴史的事実を紹介しております。堺の誇る類稀な歴史的・文化的資源として次世代に継承し、さらなる発信に努めてまいります。</p>
14	<p>現在、コロナの影響で各イベントや催事、学習講座等が中止となっているが、コロナの影響下でも持続した取組をお願いしたい。</p> <p>また(今後とも)現・大阪府立大学を軸とした学術交流を支援し、その成果を市民に還元してほしい。</p>	<p>昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となりましたが、こうした状況においても、これまでの交流や成果が途切れないよう、一部の事業ではオンラインの活用等工夫を凝らしながら取組を進めています。</p> <p>また、大阪府立大学を含めた堺市近隣の大学と協働で学校や地域へ留学生を派遣するなど、国際理解を深める取組も行っています。今後も、感染状況に注視し、いただきましたご意見を踏まえ、持続した取組を進めてまいります。</p>